

## 日本ウナギ会議 2018 要旨

主催： 2018 年度 日本ウナギ会議実行委員会

日時： 2018 年 6 月 28 日（木）13:00-17:00

場所： 中央大学 後楽園キャンパス

参加者（順不同・敬称略）：秋山貴彦，豊原有加，松本 斉（パルシステム生活協同組合連合会），太田慎吾，古園勇斗（水産庁），海部健三（中央大学），木村伸吾（東京大学），辻村千尋（日本自然保護協会），横内一樹，南川真吾（水産研究・教育機構），吉永龍起（北里大学），北出智美（トラフィック），大久保 敦（日本生協連合会），大和田 猛（個人参加），鈴木健太（埼玉県環境部水環境課），滝本麻耶（WWF），山本泰幸（イオンリテール（株）），及川浩之（オイシックスドット大地（株）），白井英治（（有）やまきね；千葉県養鰻協議会），篠田 章（東京医科大学），岡野 豊（エーゼロ（株）），森山喬司（日本鰻輸入組合）

（注）各参加者は，それぞれの所属機関を代表するものではありません

議長： 太田慎吾（水産庁）

要旨： 会議の内容を以下にまとめる。

### 記

- (1) 以下の報告および提案が行われた
  - i. ニホンウナギ資源の現状と今後の展望（水産庁・太田慎吾）
  - ii. ウナギの調達に関わるイオンの方針（イオントップバリュ株式会社・山本泰幸）
  - iii. 「ニホンウナギの現状と持続的利用・保全に向けた方針」について（事務局）
  - iv. ウナギの保全と持続的利用を目指した取り組みと資金提供者のマッチングシステムの提案（事務局）
- (2) 報告および提案を受け，具体策について議論された結果，以下の合意に至った
  - i. 取り組みと資金提供者のマッチングシステム（うな活）
    - ・規約の制定後に運用開始
    - ・資金提供者からの提案についても可能とする
    - ・運営費の取り扱いは，来年度に再検討
  - ii. その他
    - ・組織体制については来年の会議に向けて実行委員会で検討
- (3) 2019 年度日本ウナギ会議実行委員が選出された（順不同・敬称略）

秋山貴彦（パルシステム生活協同組合連合会），太田慎吾（水産庁），海部健三（中央大学），木村伸吾（東京大学），辻村千尋（日本自然保護協会），横内一樹（水産研究・教育機構），吉永龍起（北里大学），他若干名
- (4) 要旨は公開，議事録は非公開とする

以上